



記者発表資料

平成27年度 甲府河川国道事務所の事業概要

甲府河川国道事務所は、「国民の安全・安心の確保」や「地域の活性化」の観点から、豊かな地域づくりに資する河川・道路事業を進めてまいります。

平成27年度は、約364億円(維持管理費、調査費等を除く)で各事業を実施します。主な事業は、以下のとおりです。

【河川事業】

■河川改修事業

- ・「富士川 切石・手打沢地区築堤」では、手打沢地区の盛土・護岸等の整備を実施します。
- ・「富士川 木島地区河川防災ステーション」では、資材備蓄ヤードの進入路の整備を実施します。

■総合水系環境整備事業

- ・「富士川 増穂Ⅱ期地区水辺環境整備」では、水辺に親しみやすい護岸の整備を実施します。

【道路事業】

■改築事業

- ・「中部横断自動車道(富沢～六郷)」では、引き続き、全線にわたり改良、橋梁及びトンネル工事等を実施します。[富沢IC(仮称)～六郷IC(仮称) 延長28.3km 平成29年度開通予定]
- ・「国道20号 大月バイパス」では、引き続き、改良及び橋梁工事等を実施するとともに、大月第2トンネル工事に着手します。[大月市大月二丁目～大月市花咲 延長1.5km 平成30年度開通予定]

■交通安全事業

- ・「国道138号 山中湖自転車歩行者道整備」では、引き続き、工事等を実施します。

■電線共同溝事業

- ・「国道139号 富士北麓電線共同溝」では、引き続き、本体工事等を実施します。

※本資料の内容は、甲府河川国道事務所のホームページでも確認できます。

URL - <http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/>

発表記者クラブ

山梨県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、神奈川建設記者会、竹芝記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所

住所：山梨県甲府市緑が丘1丁目10-1 電話055-254-6571 (計画課)

地域広報官(副所長：河川事業関係) 風間 聡(かざま さとし)

地域広報官(副所長：道路事業関係) 近藤 進(こんどう すずむ)

目 次

【河川事業】

管内図（河川）	2
事業費（河川）	3
富士川切石・手打沢地区築堤	4
富士川木島地区河川防災ステーション	5
富士川増穂Ⅱ期地区水辺環境整備	6
維持管理	7
河川工作物関連応急対策	9
富士川水系における簡易水位計の開発・設置	10
防災学習・環境学習の取組	12

【道路事業】

管内図（道路）	13
事業費（道路）	14
中部横断自動車道（富沢～六郷）	15
国道20号 新山梨環状道路（北部区間）	16
国道20号 大月バイパス	17
国道20号 新笹子トンネル改修	18
国道52号 上石田改良	19
国道138号 新屋拡幅	20
国道139号 都留バイパス	21
国道20号 初狩地区歩道整備	22
国道138号 山中湖自転車歩行者道整備	23
国道52号 上石田電線共同溝	24
国道139号富士北麓・富士北麓(2)電線共同溝	25
維持管理	26
道路メンテナンス会議	29

事業費(河川)

(単位:百万円)

事業名		事業費
河川改修費	・富士川切石・手打沢地区築堤 ・富士川木島地区河川防災 ステーション	829
総合水系環境整備事業費	・富士川 増穂Ⅱ期地区水辺 環境整備	242
河川工作物関連 応急対策事業費	・穂池排水機場原動機改善	40
合計		1,111

※上記のほか、河川維持費、諸費等がある。

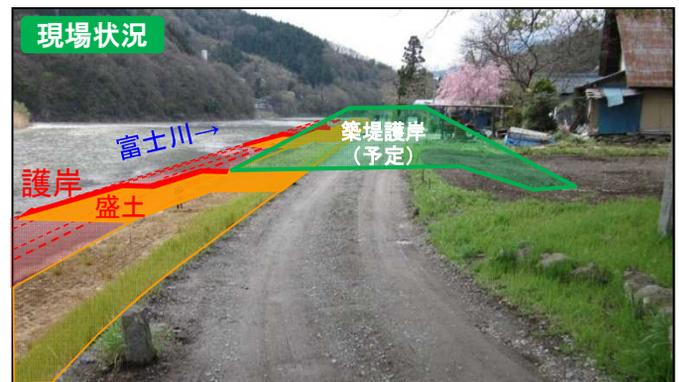
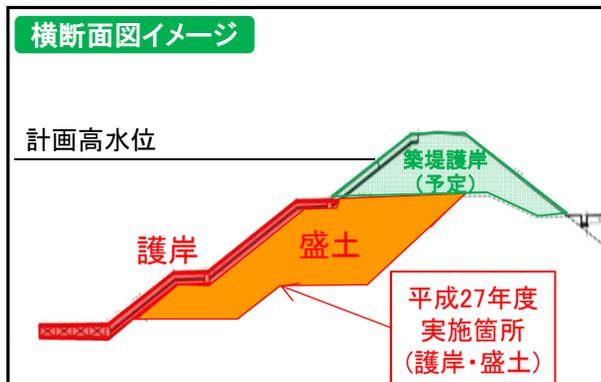
【事業の概要】

みのぶちょう きりいし てうちざわ

身延町切石・手打沢地区は、身延町役場があり、災害時には町の中核機能として重要な箇所ですが、昭和34洪水、昭和57洪水では堤防が無い、或いは低い箇所の為、浸水被害が発生しました。このため、築堤護岸整備を実施し、浸水被害の解消を図ります。

【平成27年度の予定】

手打沢地区の盛土・護岸の整備等を実施する予定です。



【事業の効果】

無堤防地区の築堤護岸等を整備し、戦後最大降雨(昭和57年洪水)による実績浸水被害の解消を図ります。

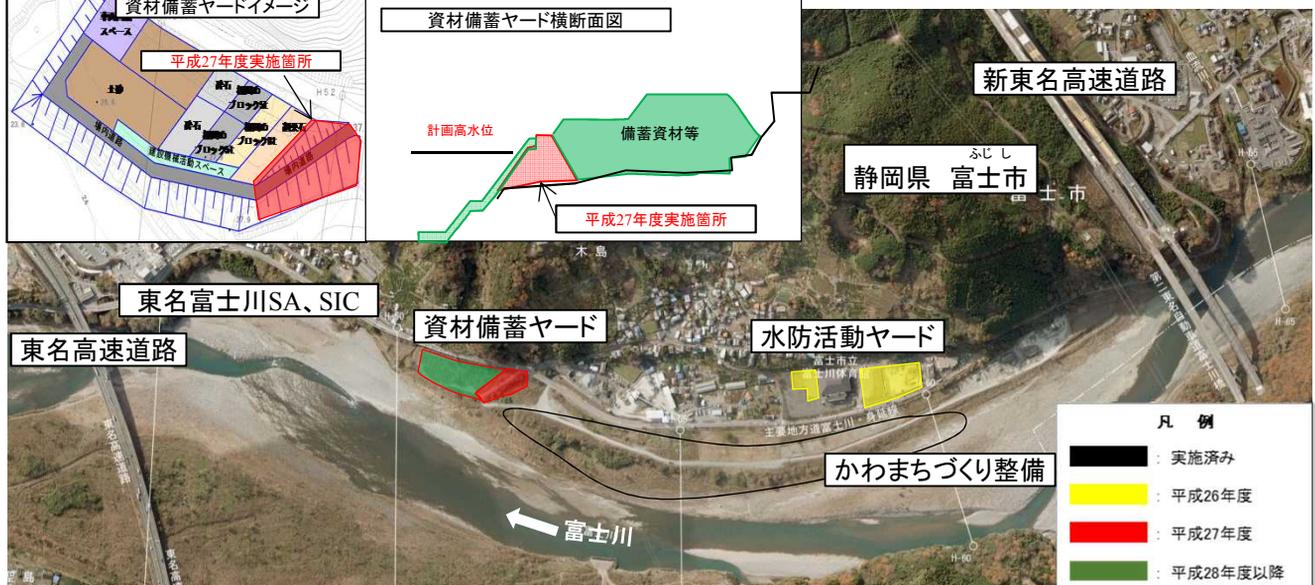
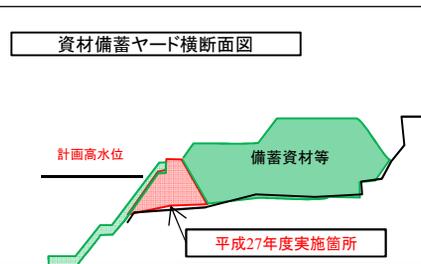
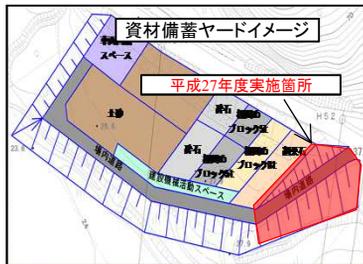
【事業の概要】

富士川下流部は人口、資産が集中する富士平野を抱えるとともに、東名高速道路や東海道新幹線等の東西日本を結ぶ大動脈が存在するため、ひとたび氾濫すれば甚大な被害が生じる恐れがあります。また、当地区は南海トラフ巨大地震による被害も懸念されています。

このため、氾濫時や大規模災害時において、迅速な復旧活動を行うための、河川防災ステーションを整備します。

【平成27年度の予定】

資材備蓄ヤードの進入路の整備を実施する予定です。



【事業の効果】

河川防災ステーションを整備することにより、災害時の迅速かつ円滑な復旧活動の拠点となります。また平常時は、かわまちづくり整備との連携により、地域活性化に寄与します。

ふじかわ ますほ き ちく みずべかんきょうせいび
富士川 増穂Ⅱ期地区水辺環境整備

H27年度事業費:2.4億円

【山梨県】直轄

【事業の概要】

ふじかわちょう

富士川町では、富士川の魅力を高める地域整備として水辺空間活用を推進しており、自然を活かした水辺にふれあう自然観察やレクリエーション等を楽しめるコミュニケーション空間として、水辺プラザ整備を行ってきました。

現在、当該地域周辺では中部横断自動車道の建設が進み、道の駅の整備による交通や物流に大きな変化が見込まれ、富士川の良い水辺空間がより重要性を増すとともに、水辺利用の広がりも期待されています。

本事業では、かわまちづくりとして水辺環境整備事業と富士川町が実施するまちづくりを一体的に行うことにより、良好な水辺空間を形成するとともに地域活性化を図ります。

【平成27年度の予定】

水辺に親しみやすい護岸の整備を実施する予定です。

位置図



平面図



整備イメージ



親水護岸のイメージ

《 凡例 》

平成26年度まで ■
平成27年度 ■

【事業の効果】

管理用通路や護岸整備をすることによって水辺へのアクセス向上自然とふれあう機会が充実します。また、河川巡視等の河川管理の効率化や治水機能の向上に寄与します。

いじかんり
維持管理(1)

【事業の概要】

富士川は長野・山梨・静岡の3県にまたがる流域面積が3,990km²、幹線流路延長が128kmの一級河川でそのうち甲府河川国道事務所で管理する延長は、富士川、釜無川、及び笛吹川等合わせて122.1kmです。

沿川住民が安心して生活でき、多くの人々から親しまれる河川とするために堤防、護岸、河川構造物等の河川管理施設の維持・管理や堤防除草、河川巡視や定期的な点検等を実施しています。

【平成27年度の予定】

○日常管理

- ・堤防、護岸や排水機場等の河川管理施設の維持・管理を行います。
- ・堤防の状態を点検・把握するために堤防除草を実施します。
- ・川の機能が正常に保たれているか、また堤防や水門などに異常がないかなど、管内の河川巡視を実施します。

堤防点検



河川管理施設の点検



堤防除草



河川巡視



維持管理(2)

○緊急時の対応

- ・洪水や地震が発生した場合は、堤防、護岸、樋門、及び排水機場などの状況を確認し、被災に対して迅速に対応します。



- ・平成26年台風18号の降雨により堤防法面にクラックが発生。



- ・近日中に台風の接近が予想されたため、緊急対応としてシート張りを行い、その後、本復旧を実施。(写真は本復旧完了後)

○河川の機能を維持するための工事

- ・洪水時の安全な流れの阻害となったり、河川の状況把握に支障となる河川内に繁茂した樹木の伐採を行います。



樹木伐採



- ・河道内に著しく繁茂した樹木により、洪水時に水が流れにくくなります。また、河川の状況の把握が出来なくなります。

- ・樹木伐採により、洪水を安全に流下させます。また、河川の状況の把握が容易に出来ます。

河川工作物関連応急対策

H27年度事業費：0.4億円
【山梨県】直轄

【事業の概要】

河川管理施設について、長期間の供用により老朽化が著しく進み、設備の改善措置や機能向上を目的とした応急対策を実施します。

【平成27年度の予定】

平成27年度は、おんぢはいすいきじょう 穩池排水機場の発電機れいきやくけいとうの冷却系統改造工事を実施します。

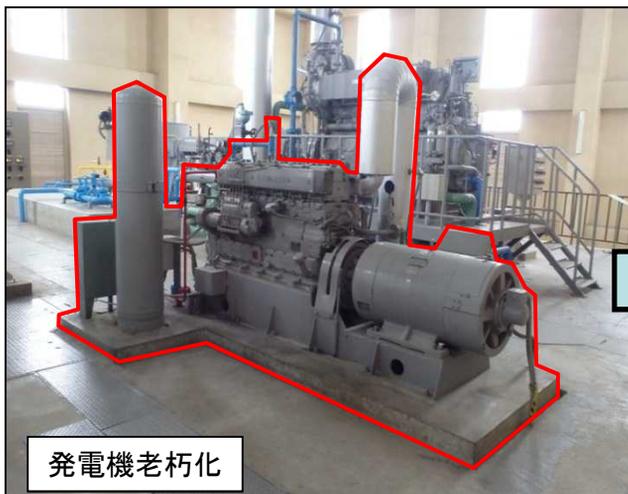
- ・穩池排水機場 発電機更新(冷却系統無水化)工事 1台分

【事業の効果】

老朽化した施設の機能の回復・向上及び維持管理性の向上を図ります。



(現 状) 設置後40年が経過し、発電機、冷却水ポンプ等の機器劣化
→故障の恐れ、信頼性低下
(更新後) 発電機をラジエータ方式に更新し、
信頼性・維持管理性の向上



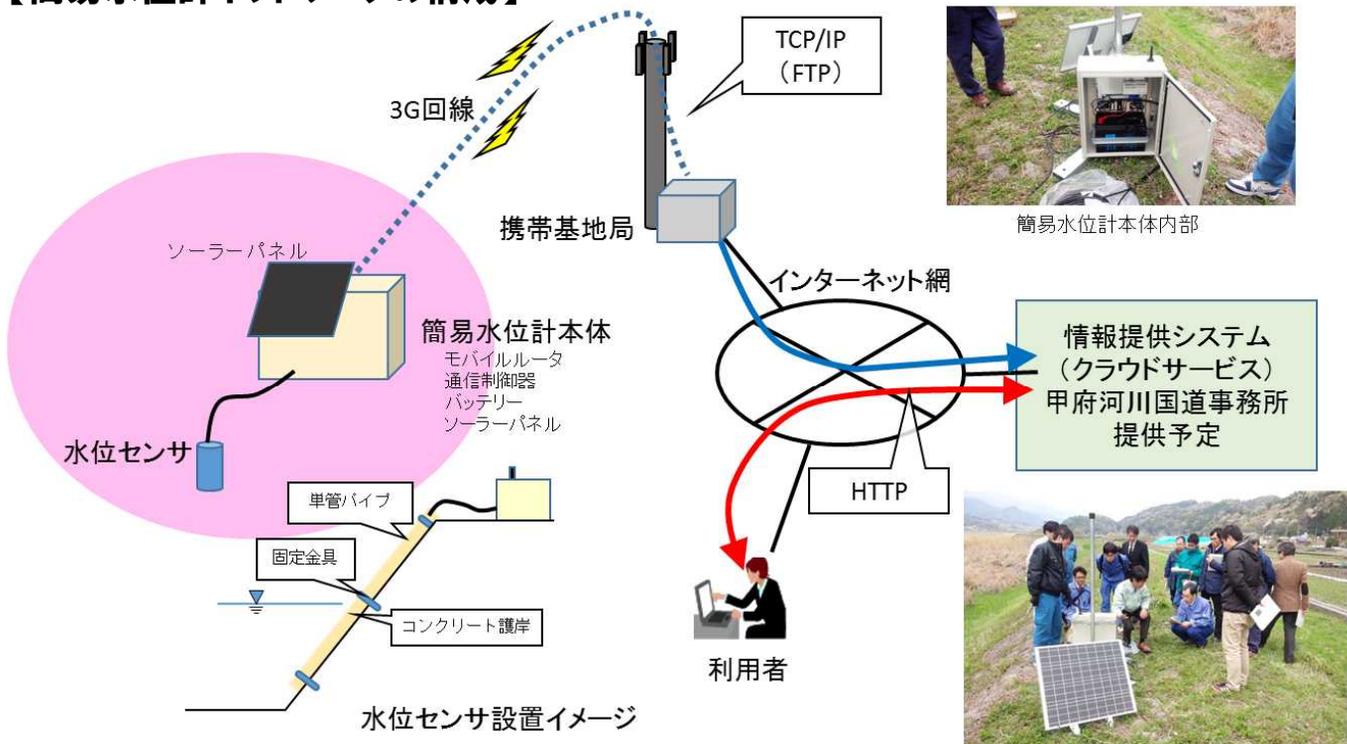
富士川水系における簡易水位計の開発・設置

【事業の概要】

富士川水系において、氾濫危険箇所の河川水位の概況を迅速かつ簡便に把握するため、設置及び運用が容易な水位センサ、通信機器、電源を備えた簡易水位計を開発・設置します。

・簡易水位計の設置 24箇所

【簡易水位計ネットワークの構成】



【平成27年度の予定】

平成27年度は、直轄河川管理区間の氾濫危険箇所において水位計が設置されていない24箇所に簡易水位計の増設を行い、出水期から水位観測、水位監視、及びインターネットによる情報提供を開始します。(水位計自体は通常の観測施設と同じもの)

【事業の効果】

- ・直轄河川管理区間の氾濫危険箇所において水位の把握ができ、迅速に必要な対応が可能となります。
- ・観測網や電源施設が不要で安価であるため、中小河川等にも設置が容易です。
- ・自治体等で設置した簡易水位計データについても甲府河川国道事務所提供のクラウドサービスにより表示・情報提供が可能となります。
- ・浸水リスク箇所への設置により自治体の迅速な避難勧告等の判断・発令にも寄与します。
- ・水位観測結果の情報提供による減災効果(自助・共助)が期待されます。
- ・内水氾濫を監視したい箇所へも利用が可能であり、内水氾濫状況の把握や避難の検討ができます。

防災学習・環境学習の取組

【概要】

甲府河川国道事務所では、防災学習や環境学習の一環として「出前講座」や「住民参加の水質調査」に取り組んでいます。

【出前講座】

出前講座は、「国土交通省の事業の必要性や、それらに対する取組を伝えること」、「国民とのコミュニケーションを図ること」などを目的に実施しているものです。

甲府河川国道事務所では、現在、行っている事業や防災・環境への取組について、小中学校の総合学習や市民の生涯学習の場へお伺いし説明を行っています。

平成26年度は、小学生を中心に3団体、延べ約350名に対して出前講座を実施しました。今年度も引き続き実施します。

【住民参加の水質調査】

甲府河川国道事務所では富士川において、身近な川の水質や環境について理解して頂くことを目的に、流域のみなさんに参加を募り、簡易水質測定用具を用いて水質を調べる「富士川一斉水質調査」や、沿川の小中学校に協力して頂き、富士川に生息している水生生物を指標として水質の状況を確認する「水生生物による水質簡易調査」など住民参加型の調査を行っています。

平成26年度は、延べ約800名の方々に参加頂きました。今年度も引き続き実施してまいります。

出前講座の実施状況

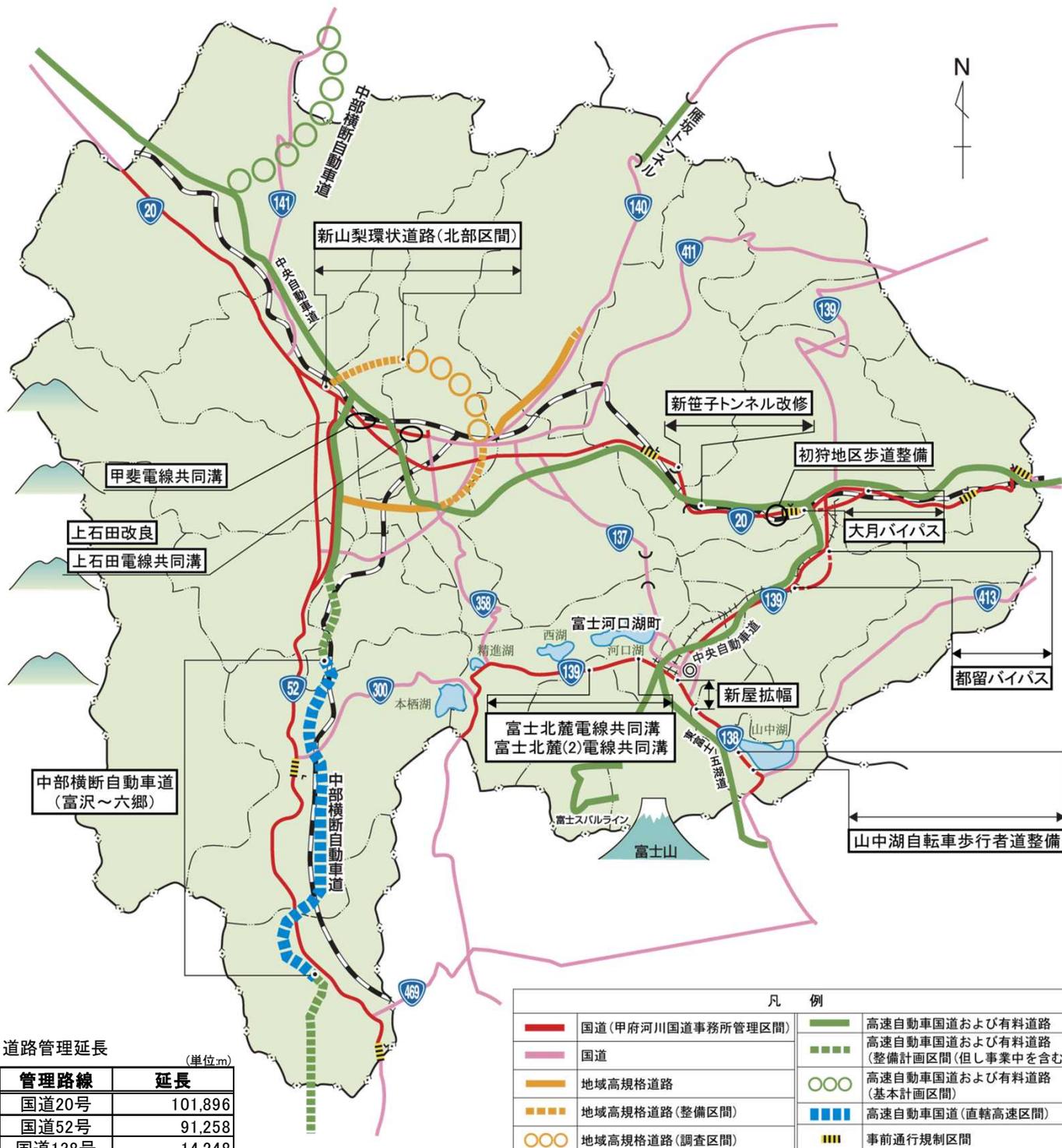


水生生物調査の実施状況



管内図(道路)

道路事業管内図



道路管理延長

(単位:m)

管理路線	延長
国道20号	101,896
国道52号	91,258
国道138号	14,248
国道139号	51,516
合計	258,918

凡例

	国道(甲府河川国道事務所管理区間)		高速自動車国道および有料道路
	国道		高速自動車国道および有料道路(整備計画区間(但し事業中を含む))
	地域高規格道路		高速自動車国道および有料道路(基本計画区間)
	地域高規格道路(整備区間)		高速自動車国道(直轄高速区間)
	地域高規格道路(調査区間)		事前通行規制区間

事業費(道路)

平成27年度 甲府河川国道事務所 事業費(道路)

(単位:百万円)

事業名		事業費
改築事業		33,378
	中部横断自動車道(富沢～六郷)	31,300
	国道20号 新山梨環状道路(北部区間)	30
	国道20号 大月バイパス	1,672
	国道20号 新笹子トンネル改修	180
	国道52号 上石田改良	83
	国道138号 新屋拡幅	70
	国道139号 都留バイパス	43
交通安全事業	国道138号 山中湖自転車歩行者道整備 他	1,152
電線共同溝事業	国道139号 富士北麓電線共同溝 他	740
合計		35,270

※上記のほか、維持管理費、調査費等がある。

中部横断自動車道(富沢～六郷)

H27年度事業費:313億円

【事業の概要】

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点とし、山梨県甲斐市を經由し長野県小諸市に至る延長約132kmの高速自動車国道です。

山梨県区間の富沢IC(仮称)～六郷IC(仮称)の28.3kmについては、平成17年度より直轄高速事業として着手し、平成29年度の開通を予定し、事業を進めています。

事業箇所: 山梨県南巨摩郡南部町～西八代郡市川三郷町
延長: 28.3km



【平成27年度の予定】

平成27年度は、引き続き全線にわたり、改良、橋梁及びトンネル工事を実施するとともに、新たに椿川橋上部工事(L=387m)に着手します。



【富士川橋】平成27年4月撮影



【事業の効果】

- 東海地震等による広域的な災害時の救急・救援ルートとして機能します。
- 広域的な物流体系や観光周遊ルートの形成及び「コンパクト+ネットワーク」の推進が図られることより、地域を支える産業・雇用等の創出に寄与します。

国道20号 しんやまなしかんじょうどうろ ほくぶくかん 新山梨環状道路(北部区間)

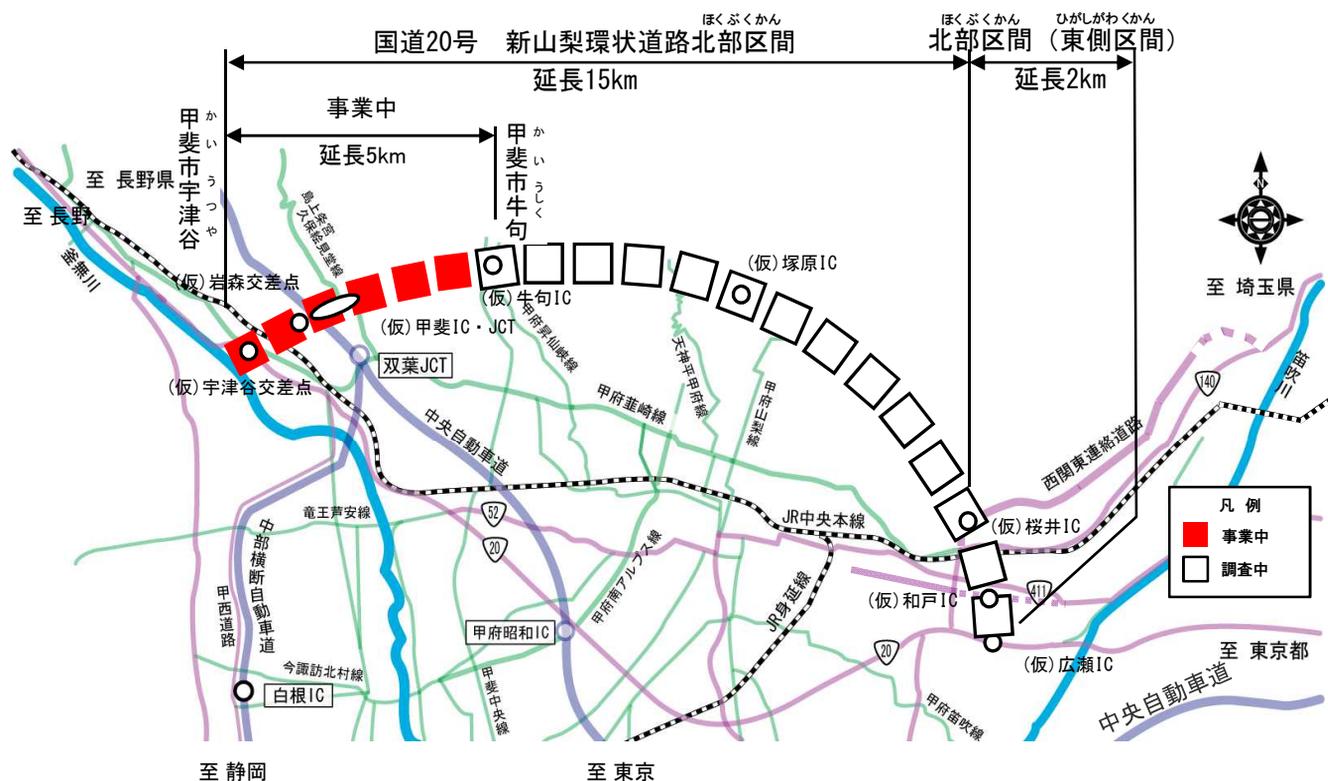
H27年度事業費:0.3億円

【事業の概要】

しんやまなしかんじょうどうろ ほくぶくかん こうふ
新山梨環状道路(北部区間)は、甲府中心市街地から半径およそ5km~7kmの位置に計画された環状道路の一部をなす延長17kmの国道20号のバイパス事業です。

【平成27年度の予定】

平成27年度は、環境調査を実施します。



【事業の効果】

- こうふ 甲府中心市街地の通過交通の排除や流入交通の分散により、国道20号や(主) こうふにらさき 甲府韮崎線など甲府圏内の幹線道路の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待されます。

国道20号 おおつき 大月バイパス

H27年度事業費:16.72億円

【事業の概要】

国道20号 おおつき 大月バイパスは、大月市駒橋から同市大月 はなさき 町花咲までの延長約3.2kmのバイパス事業です。

平成19年度までに大月市駒橋～大月市大月二丁目間の延長1.7kmが開通しています。

事業中の延長1.5km区間は、平成30年度の開通を予定し、事業を進めています。

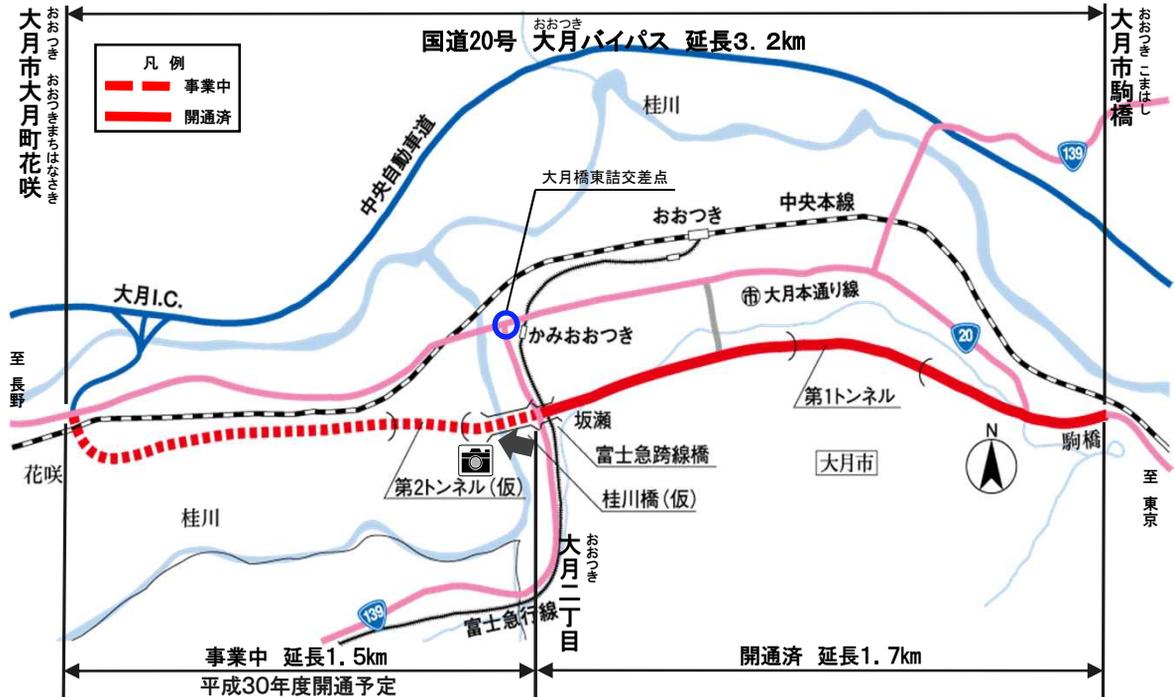


【平成27年度の予定】

平成27年度は、桂川橋下部工事、上部工事、花咲地区改良工事、大月第2トンネル工事、JRアンダーボックス工事、道路設計、埋蔵文化財調査及び花咲地区の用地買収を実施します。



桂川橋(仮)の施工状況(甲府方面を望む)
平成27年4月撮影



【事業の効果】

- 大月市中心部の交通渋滞の緩和、通学路などの交通量減少による歩行者の安全性の向上などが期待されます。
- 世界遺産の富士山周辺の観光地へのアクセス性の向上が期待されます。

しんささご 国道20号 新笹子トンネル改修

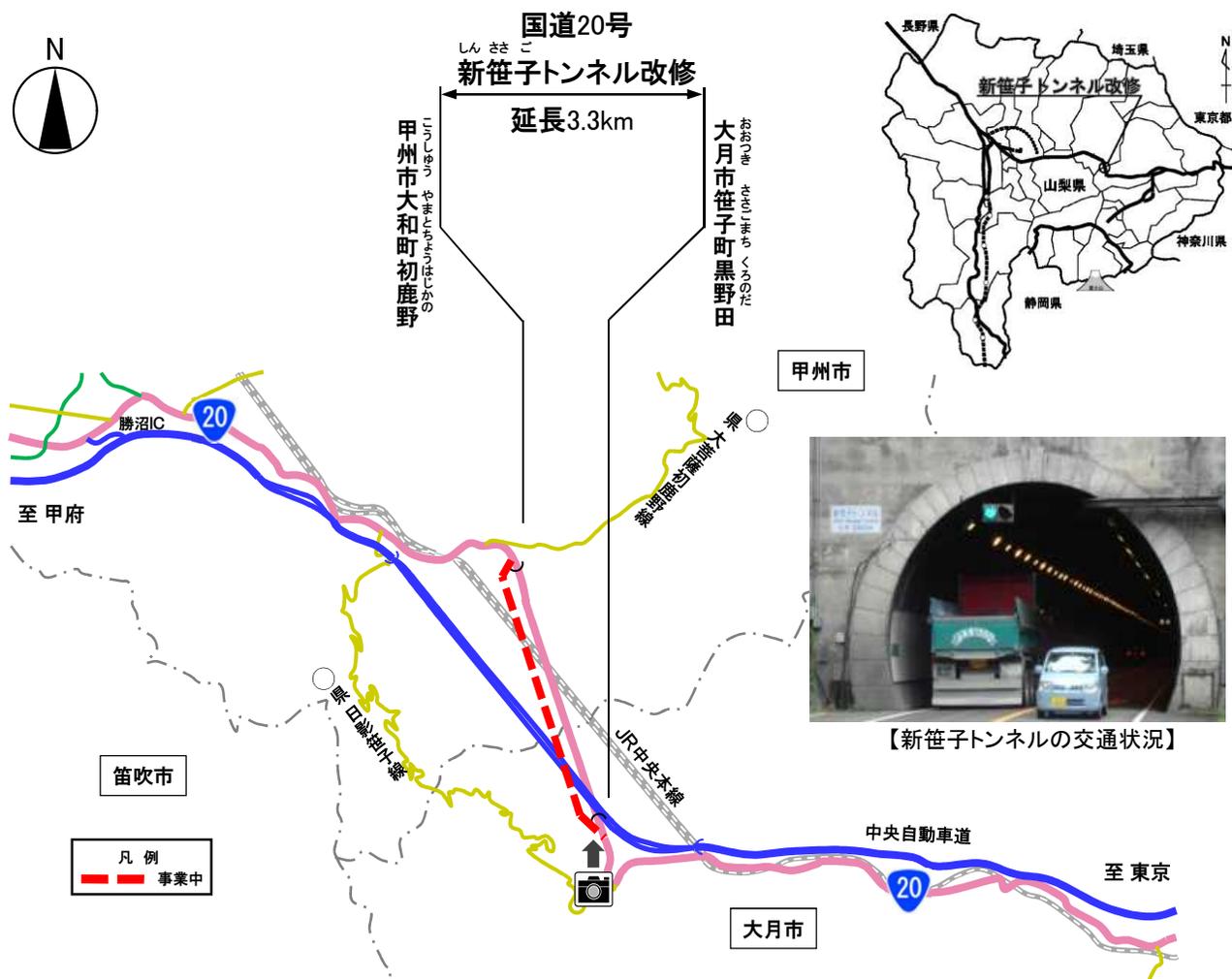
H27年度事業費:1.8億円

【事業の概要】

国道20号新笹子トンネル改修は、山梨県大月市笹子町黒野田から甲州市大和町初鹿野における、老朽化の著しい新笹子トンネルの改修を行う事業です。

【平成27年度の予定】

平成27年度は、トンネルの詳細設計、地質調査及び水文調査を実施します。



【事業の効果】

- 新笹子トンネル改修が完成することにより、通過交通の安全を確保することができます。
- 背高コンテナ等の大型車の通行も可能になる事から、広域物流支援につながる事も期待されます。

国道52号 上石田改良

かみいしだかいりょう

H27年度事業費:0.83億円

【事業の概要】

国道52号上石田改良は、甲府市富竹一丁目から甲府市寿町に至る延長約1.0kmの道路拡幅事業です。

平成26年4月21日には、甲府市上石田一丁目～甲府市寿町間の延長0.75kmの4車線化が完了しています。

事業箇所:山梨県甲府市富竹一丁目～山梨県甲府市寿町
延長:1.0km



【平成27年度の予定】

○【区間①】甲府市富竹一丁目～甲府市上石田一丁目
(延長0.25km)

平成27年度は道路設計、及び富竹地区の用地買収を実施します。

○【区間②】甲府市上石田一丁目～甲府市寿町
(延長0.75km) H26.4.21 4車線化済

平成27年度は、荒川橋改良(護岸の復旧)工事を実施します。



【事業の効果】

甲府市街地の交通渋滞の緩和、歩道設置等による歩行者の交通安全確保などが期待されます。

国道138号 新屋拡幅

あらやかくふく

H27年度事業費:0.7億円

【事業の概要】

国道138号新屋拡幅は、^{あらやかくふく}富士吉田市上吉田七丁目から^{ふじよしだ かみよしだ}富士吉田市上吉田堰林に至る^{ふじよしだ かみよしだ}延長約2.6kmの道路拡幅事業です。

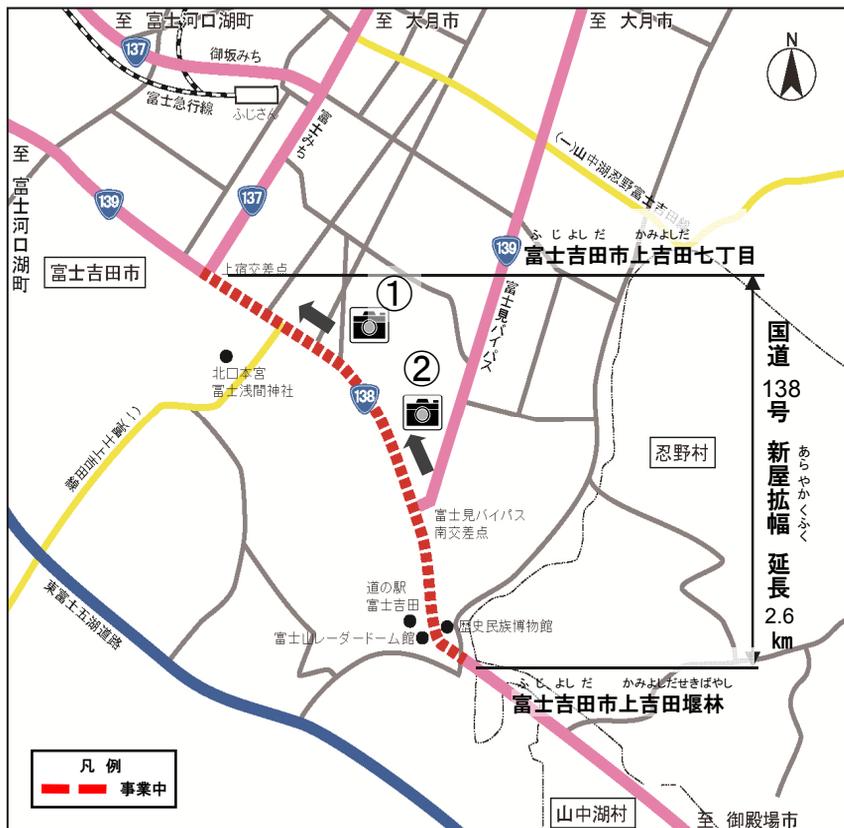
事業箇所:^{ふじよしだ かみよしだ}山梨県富士吉田市上吉田七丁目～
^{ふじよしだ かみよしだ}富士吉田市上吉田堰林

延長:2.6km



【平成27年度の予定】

平成27年度は、引き続き道路設計、用地調査、及び用地買収を実施します。



【浅間神社前の交通状況】



【富士見バイパス南交差点付近の交通状況】

【事業の効果】

^{ふじよしだ}富士吉田市街地の交通渋滞の緩和、歩道整備による歩行者の交通安全確保及び災害時の避難路確保などが期待されます。

国道20号 初狩地区歩道整備

H27年度事業費:0.15億円

【事業の概要】

大月市初狩地区には、初狩小学校が立地し、通学路に指定されているが歩道が未整備であり、児童の安全が十分に確保されていない状況です。

このため、国道20号初狩地区歩道整備は歩道の新設や拡幅を行い、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものです。

事業箇所: 山梨県大月市初狩町中初狩

延長: 0.3km

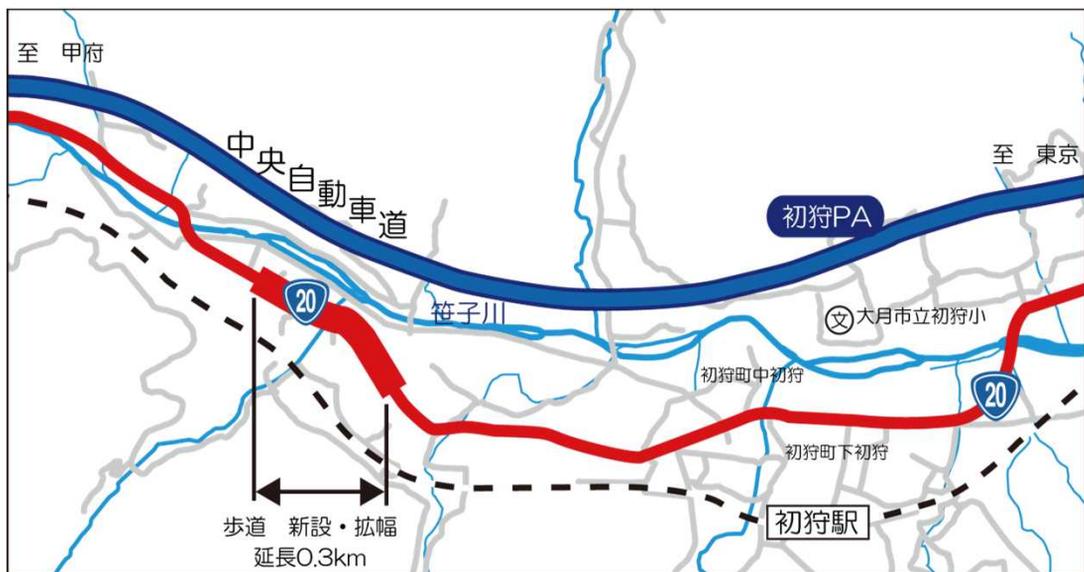
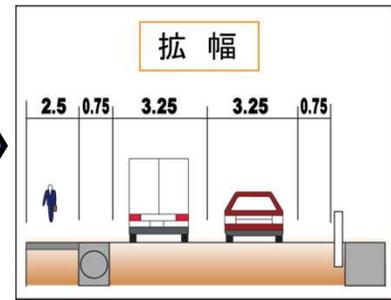


【平成27年度の予定】

平成27年度は、調査設計を実施します。



歩道未整備状況



【事業の効果】

○当該区間に歩道が整備されることにより、歩行者の安全・安心の向上が期待されます。

国道138号 山中湖自転車歩行者道整備 等

H27年度事業費:3.81億円

【事業の概要】

南都留郡山中湖村の山中湖畔には、湖畔を一周するサイクリングロードの中で、未整備となっている区間があり、自転車利用者及び歩行者が国道を通行する自動車と併走しており、安全が確保されていない状況です。

国道138号山中湖自転車歩行者道の整備は、事故の抑止を図るとともに、自転車利用者及び歩行者の安全な通行空間の確保を行うものです。

事業箇所: 山梨県南都留郡山中湖村山中 延長: 2.0km



整備済み区間



交通状況



山中湖自転車歩行者道整備

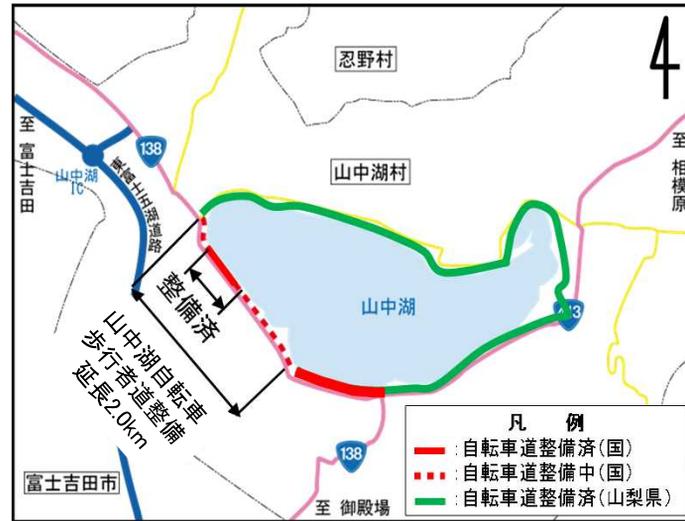
【平成27年度の予定】

平成27年度は早期全線開通に向け、引き続き自転車歩行者道の工事を実施します。(約0.5kmが整備済みです)

【事業の効果】

- 当該区間の自転車歩行者道の整備により、歩行者及び自転車の安全性の向上が期待されます。
- 山中湖を一周するサイクリングロードが完成し、周遊観光のネットワークが形成されます。

【その他の交通安全事業】



箇所名	平成27年度の事業内容
国道 52号 <small>かじかざわ</small> 鵜沢地区歩道整備	調査設計、用地買収、歩道設置工事を実施予定です。
国道 52号 <small>いいのしんまち</small> 飯野新町交差点改良	調査設計、用地買収、交差点改良工事を実施予定です。
国道 52号 <small>くがわ</small> 貢川地区歩道整備	調査設計、用地買収を実施予定です。
国道 139号 <small>もとす</small> 本栖地区歩道整備	調査設計、用地買収、歩道設置工事を実施予定です。
国道 139号 <small>しょうじこ</small> 精進湖入口交差点改良	調査設計、用地買収、交差点改良工事を実施予定です。
国道 139号 <small>いっぽんぎ</small> 一本木交差点改良	調査設計、交差点改良工事を実施予定です。
国道 139号 <small>かみくれち</small> 上暮地歩道整備	調査設計、用地買収、歩道設置工事を実施予定です。
国道 139号 <small>つるぶんだい</small> 都留文大入口交差点改良	調査設計、用地買収、交差点改良工事を実施予定です。

かみいしだでんせんきょうどうこう
国道52号 上石田電線共同溝

H27年度事業費:0.48億円

【事業の概要】

かみいしだでんせんきょうどうこう こうふ
国道52号上石田電線共同溝は、甲府市市街地の商業施設や住宅の多い地区において、上石田改良事業（道路拡幅事業）と一体となり電線共同溝を整備することにより、安全で快適な通行空間の確保を図るものです。

事業箇所：こうふ かみいしだ こうふ ことぶきちょう
延長：2.0km



【平成27年度の予定】

平成27年度は、引き続き上り線の電線共同溝本体工事を実施します。



■電線共同溝の整備イメージ



■状況写真



📷 甲府市上石田地先

国道139号

富士北麓電線共同溝

富士北麓(2)電線共同溝

H27年度事業費:6.3億円

【事業の概要】

国道139号富士北麓電線共同溝、富士北麓(2)電線共同溝は、世界遺産である富士山周辺の観光エリアにおいて、山梨県の無電柱化事業と連携することにより、富士北麓地域の景観の向上及び、安全で快適な通行空間の確保を図るものです。

事業箇所: 山梨県南都留郡富士河口湖町船津～富士吉田市上吉田【区間①】

山梨県南都留郡鳴沢村前原～南都留郡富士河口湖町船津【区間②】

延長: 7.4km【区間①】、7.1km【区間②】



【平成27年度の予定】

平成27年度は、区間①及び②共に引き続き電線共同溝本体工事を実施します。



■電線共同溝の整備イメージ

■状況写真



① 富士吉田市上吉田地先

② 電線共同溝の設置状況

維持管理(道路施設の補修①)

【事業の概要】

甲府河川国道事務所では、国道20号、52号、138号、139号の4路線、総延長約259kmを管理しています。

国民の安全・安心の確保の観点から、国民の命と暮らしを守るための道路施設の老朽化対策として、橋梁・トンネル等の定期的な点検・診断とそれに基づく補修等を着実に進めるとともに、防災・減災対策として、のり面对策や橋梁耐震補強等にも取り組んでいます。

また、安全で円滑な交通を確保するための道路巡回、道路清掃、及び日常管理等についても適切に実施しています。

【平成27年度の予定】

平成27年度は以下の内容に取り組めます。

1. 道路管理施設等の点検

橋梁点検, トンネル点検, 横断歩道橋点検, 道路附属物点検, のり面工・土工
構造物点検, 防災点検 等



橋梁点検実施状況



トンネル点検実施状況



道路附属物点検実施状況



防災点検(のり面)実施状況

維持管理(道路施設の補修②)

2. 道路管理施設等の補修・対策

【老朽化対策】

1) 橋梁補修

国道20号: しん まつやま さわ ばし しん か く ほ さわ ばし 新松山沢橋, 新加久保沢橋 他

国道52号: おお ほりがわ はし おおやな がわ ばし つぼ かわ ばし 大堀川橋, 大柳川橋, 坪川橋 他

国道138号: ふ じ み ばし ふ じ み ばし そく どう きょう 富士見橋, 富士見橋側道橋

国道139号: さ えき ばし おち あい ばし おち あい ばし そく どう きょう 佐伯橋, 落合橋, 落合橋側道橋



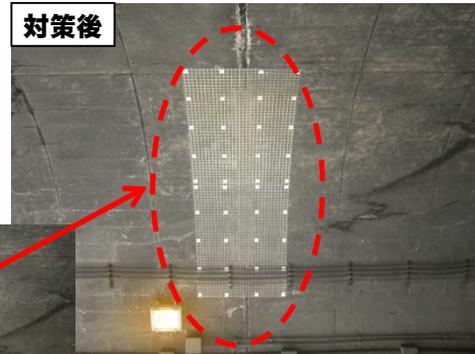
橋梁補修の事例(伸縮装置)

2) トンネル補修

国道20号: しん さき こ 新笹子トンネル

国道52号: しおざわ なんぶみのぶ 塩沢トンネル, 南部トンネル, 身延トンネル

国道139号: つる 都留トンネル



トンネル補修の事例(剥落防止)

【事前防災・減災対策】

1) 防災対策

国道20号: は じか の 初鹿野地区 (H26年度継続)

国道52号: まんざわ おおわ 万沢地区, 大和地区 (H26年度継続)



防災対策の事例(のり面の落石防護柵, 吹付枠)

2) 耐震補強

国道52号: お ざわ はし おおくら さわ ばし 小沢橋, 大倉沢橋 他

維持管理(日常の管理)

3. 日常管理

一般交通に支障をきたさないよう道路を常時良好な状態に保ち、道路利用者などに対して安全で円滑な交通を確保するために、道路巡回、道路清掃、除草、及び樹木の剪定などの各作業を実施します。

また、除雪については、関係機関と連携しながら、必要に応じて災害対策基本法に基づく指定区間の通行止めや車両移動等を行い、着実かつ効率的な除雪作業を実施します。



道路巡回状況



道路清掃作業状況



除草作業状況



樹木の剪定作業状況



平成26年11月 災害対策基本法を踏まえた車両移動訓練状況



平成27年1月 災害対策基本法に基づく通行止めを適用した除雪状況

道路メンテナンス会議

～県内の道路管理者が連携して道路橋等の老朽化対策を進めています～

【事業の概要】

山梨県内の道路橋の約60%は、1950年代後半から1980年代前半にかけて建設され、建設後50年を経過した橋梁は、平成26年度時点で約19%であり、10年後には約45%となります。

こうした道路施設の老朽化に対応して、適切な維持管理を行っていくことを目的として、点検基準の法定化、国による修繕等代行制度の創設について、平成25年6月に道路法が改正され、平成26年度から、すべての道路管理者に対して5年に1回の近接目視点検を実施することが義務付けられました。

これを受けてメンテナンスサイクル(点検→診断→措置→記録)を回す仕組みとして、県内のすべての道路管理者が参画する「山梨県道路メンテナンス会議」が平成26年5月に設置されました。

【平成27年度の予定】

平成27年度は、山梨県内の道路施設を安心して利用できるように、県内のすべての道路管理者と協力して、メンテナンスサイクルの実施に取り組みます。

自治体支援を目的とした「地域一括発注」、道路管理者としての点検技術力の向上を目的とする研修や講習会を実施します。

道路利用者や地域住民の皆さんから、道路施設の老朽化の現状と対策への理解を得るための取り組みも進めてまいります。

平成26年度の主な取組



(山梨県道路メンテナンス 会議の設置:H26.5.28)



(橋梁現地点検講習会:H26.12.5)

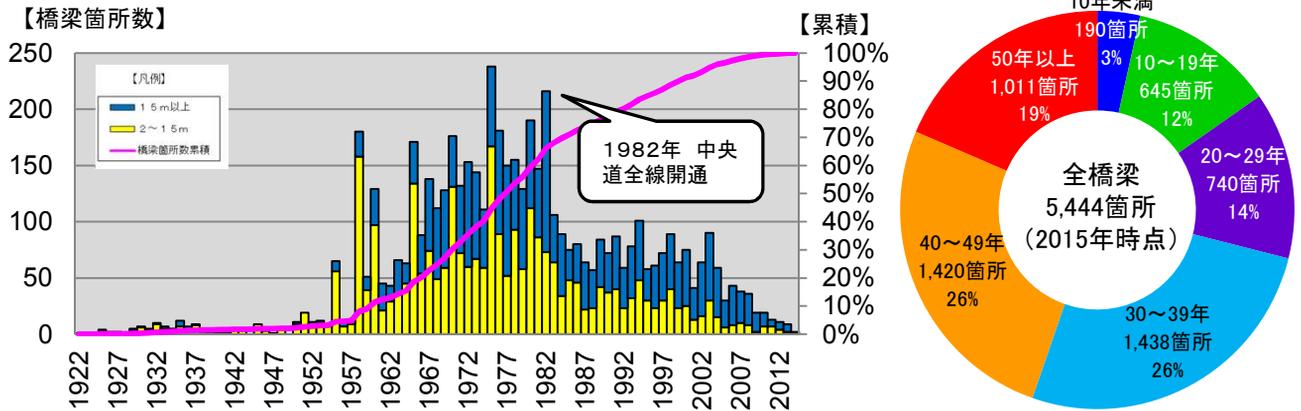


(現地見学会では地元高校生も模擬点検を体験:H26.10.24) 29

山梨県内橋梁の建設後経過年数

○山梨県内にある道路橋の6割は、1950年代後半から始まった、いわゆる「高度経済成長期」から1980年代前半にかけて架橋されました。
 ○現在、架橋から50年以上の橋梁は全体の約19%を占めていますが、10年後には約45%となり老朽化が進展します。

●建設年度別の橋梁箇所数の分布



※1) 建設年次不明橋梁は除く。

●架橋50年以上の道路橋の推移

